

平成 30 年度 第 4 回半田市地域公共交通会議事録

開催日時	平成 31 年 1 月 15 日 (火)	14 時 45 分～17 時 00 分
開催場所	半田赤レンガ建物 クラブハウス B	
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1) 市内公共バス乗降調査結果及び地区路線バス実績集計表について</p> <p>(2) 再編後の意見、要望及びその対応について</p> <p>(3) 平成 30 年度 補助系統別事業評価票 (常滑線) について</p> <p>4. 協議事項</p> <p>(1) 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 (計画推進に係る事業) (案) について</p> <p>5. その他</p> <p>(1) 地区路線 B 導入ガイドラインについて</p> <p>(2) 半田市地域公共交通網形成計画に基づく事業スケジュールについて</p> <p>6. 情報交換</p> <p>・近隣市町の状況について</p>	
出席委員 【欠席委員】	<p>(会長)</p> <p>半田市副市長</p> <p>(委員)</p> <p>知多乗合株式会社取締役バス営業本部長</p> <p>安全タクシー株式会社代表取締役</p> <p>愛知県タクシー協会知多支部長</p> <p>公益社団法人愛知県バス協会専務理事</p> <p>国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官 (代理)</p>	

	<p>【名鉄知多タクシー労働組合執行委員長】 愛知県知多建設事務所維持管理課長 愛知県半田警察署交通課長（代理）</p> <p>【亀崎地区代表区長】 乙川地区代表区長 半田地区代表区長 成岩地区代表区長</p> <p>【半田商工会議所福祉共済課長】 社会福祉法人半田市社会福祉協議会事務局長 半田市老人クラブ連合会会長 特定非営利活動法人半田市観光協会事務局長 一般市民（公募委員） 名古屋大学環境学研究科教授 半田市副市長 半田市総務部長 半田市建設部長 半田市市民経済部長 半田市福祉部長 半田市議会議員 名古屋鉄道株式会社中部支配人（代理） 愛知県振興部交通対策課主幹（代理）</p>												
事務局	<table border="0"> <tr> <td>防災監</td> <td></td> <td>加藤幸弘</td> </tr> <tr> <td>防災交通課</td> <td>課長</td> <td>柘植信彦</td> </tr> <tr> <td></td> <td>副主幹</td> <td>間瀬恒幸</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主事</td> <td>間瀬勝信</td> </tr> </table>	防災監		加藤幸弘	防災交通課	課長	柘植信彦		副主幹	間瀬恒幸		主事	間瀬勝信
防災監		加藤幸弘											
防災交通課	課長	柘植信彦											
	副主幹	間瀬恒幸											
	主事	間瀬勝信											
傍聴者	4名												

次 第	議事概要
2. あいさつ	(会長あいさつ)
3. 報告事項 (1) 市内公共バス 乗降調査結果 及び地区路線 バス実績集計 表について	<p>(事務局)</p> <p>説明</p> <p>(会長)</p> <p>今の説明につきまして、ご意見などあればお受けいたします。</p> <p>(半田市議会議員)</p> <p>先生の経験から、この最初の3か月はこのようなものでしょうか。これがいい方なのか、悪い方なのか、平均的なのか教えてください。</p> <p>(名古屋大学環境学研究科教授)</p> <p>私が思っていたものと比較すれば、こんなものかなという感じですが。確認事項として、目標値の市内バス1日乗車人数2,700人というのは地区路線の3線だけではないですね。</p> <p>(事務局)</p> <p>網形成計画では市内のバス路線全体で2,700人という目標になっており、これは半田市民が1か月に1回バスに乗ることから導いています。</p> <p>(名古屋大学環境学研究科教授)</p> <p>その目標を各路線に分けるときに、便数で按分すると亀崎・有脇線が200、半田中央線が260、青山・成岩線が280という数字になるかと思いますが、かなり実現不可能な目標</p>

だと思えます。基幹路線の方にもっと比重を大きくしないと
いけないと思えます。

(事務局)

現状、乗車機会で按分しておりまして、半田北部線は 920
人、半田・常滑線は 940 人、地区路線 B は 100 人で 2,700 人
としております。単純に乗車機会から算出しておりますので、
先生からいただいたご指摘のように比重の変更も必要ある
のかなと思っております。

(名古屋大学環境学研究科教授)

元の目標が積み上げ式ではなく、トップダウン的な目標な
ので、下の方に来ると無理が出ることもあるわけですが、私
としては地区路線ならば 150 くらいが相場かと思えます。目
標に対しては大体 3 年をめどにみますが、150 が目標ならそ
の 3 分の 2 です。しかし、亀崎・有脇線はそれとしても低い
と思えます。

各線の目標値に関してはここで承認していない仮のものだ
と思えます。便数で按分すると高い目標になるので、車のサ
イズ等も加味した目標に考え直すのがいいかと思えます。

2,700 人という数字は、元々野心的な数字であるので、達
成できなければどうだ、という話ではないと思えますが、こ
こでは按分のやり方に問題があったのではないかということ
です。

(事務局)

半田中央線と青山・成岩線に関しては、乗降調査の際にも
比較的ご利用いただけているという感じを受けており、伸び

しろがあると感じております。半田北部線と半田・常滑線についても、まだ目標に届いておりません。目標値の見直しも含めて進めていきたいと思っております。

(知多乗合株式会社取締役バス営業本部長)

10月1日にスタートしてこれまで無事故で運行でき、皆さまには大変感謝いたします。

その再編の中で、お客様に喜んでいただけるということで、常滑の方からの直通運転をしておりますが、どうしても遅延を半田市内へ持ち込んでしまうことがございます。こうしたことに対応するため、3月16日のJRのダイヤ改正を目途に、現実に即したダイヤにするよう社内で検討をしております。

(事務局)

ただ今のお話についてですが、青山地区や板山地区の方々からは、市役所や半田病院への乗り継ぎを極力少なくして欲しいという意見も非常に多くあります。もちろん、直通運転による遅れについても非常に危惧される場所ではありますが、出来る限り継続あるいは拡大していただきたいところです。

(名古屋大学環境学研究科教授)

空港から半田市だと鉄道がありますが、知多半田駅と半田市役所や病院は少し離れています。そこでバスが有利になりますが、知多半田で止まっては意味がないと思います。しかし一方で遅延をすることになりますので、知多半田での待機時間を増やすか、日本福祉大学での折り返しを長く取るかと

というような対応になるかと思っています。

資料1について、一両日中というのは2日間という意味ですか。

また、OD表があると地区による多少がよくわかるので、次の機会にお見せいただけたらと思います。

(事務局)

ごんくる3路線と半田北部線は同日、半田・常滑線は別日の計2日間で乗降調査をしました。

OD表の提供については承知しました。

(成岩地区代表区長)

どういった根拠から目標値の2,700人は計算されていて、この数字は採算が取れるものですか。

(事務局)

半田市民が1か月に1回バスに乗りましょうということから逆算して、1日およそ2,700人乗ると先の目標となることから出しており、採算の面は計算に含めておりません。

(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官)

OD表を見ればどこの便が強いのか弱いのか、乗り継ぎについてはどうなのか、という分析ができると思いますので、重ねてお願いします。知多バスさんの幹線にごんくるという枝線を走らせているので、乗り継ぎという観点も含めて、今後何らかの形で資料を出していただけるといいかと思います。

	<p>(事務局)</p> <p>便ごとの実績については現在集計中ですので、整理していきます。ただ、例えば日本福祉大学で降りた方が、亀有バスに乗り継いだか、その逆があるかという調査には至っておりませんので、大学で何人乗ったかというような数値の整理を資料としたいと思います。</p>
<p>(2) 再編後の意見、要望及びその対応について</p>	<p>(事務局)</p> <p>説明</p> <p>(会長)</p> <p>今の説明につきまして、ご意見などあればお受けいたします。</p> <p>(一般市民(公募委員))</p> <p>私は亀有バスを利用することが多いですが、目標達成率が17.8%というの低いように感じます。要望のところにも60分に1本にして欲しいというものがたくさんあります。これについて、ダイヤや路線を変えることについて、どのように考えているかと、それはどのくらいの協議期間を経て、結論はいつぐらいになるかをお聞きしたいです。</p> <p>(事務局)</p> <p>亀崎・有脇線についてはこのままの運行ではなく、必ず見直しが必要だと考えています。しかし、現在の路線も亀崎地区・有脇地区の方々との協議をした路線ですので、市の方で勝手に進められないと思っています。見直しについても、地区の方とお話をする中で進めていきたいと思っています。</p>

	<p>時期については早い方がいいと思っております、最も早い段階だと今年の 10 月 1 日に何らかの見直しをしたいと考えています。しかし、地域の方と進めることが大事だと思っておりますので、必ず 10 月 1 日に見直しができるというものではないです。</p> <p>(名古屋大学環境学研究科教授)</p> <p>皆さんと作った路線でこうなったとのことですが、片回りであることや 90 分に 1 本であることなど、偏った使い方になる路線で、地図上で議論した結果だろうと思います。</p> <p>見直しにあたっては、地域のことを分かっているからこそ、実際にバスに乗ってから議論をして欲しいと思います。</p>
<p>(3) 平成 30 年度 補助系統別事業 評価票 (常滑線) について</p>	<p>(事務局) 説明</p> <p>(会長)</p> <p>こちらは 1 月 10 日に県のバス対策協議会で承認されている事項になります。内容についてご質疑やご意見がありましたらお伺いします。</p> <p>(知多乗合株式会社取締役バス営業本部長)</p> <p>少し補足ですが、この資料は半田市と常滑市を結ぶ地域間幹線についてのもので、常滑市内で分岐しているために、何枚かに分かれております。現在、少しずつですが減っているという状況ですが、この資料の常滑線は、今回 10 月より半田・常滑線として、青山駅に乗り入れたり、半田北部線との直通運転をしたりと、色んな方に乗っていただけるよう努力</p>

して、右肩上がりにしていきたいと思っております。

(事務局)

地域間幹線系統ですが、常滑線の他にも武豊町のゆめころんも該当しており、そちらについても半田市の所見を記載しております。本日の資料とすることを失念しておりましたので、改めて委員の皆さんに送付させていただきますので、ご理解いただきたいと思っております。

(愛知県振興部交通対策課主幹)

補足をさせていただきます。これら地域間幹線系統は県で取りまとめて、今後国へ今後提出していくものです。また2月には、幹線に加えてフィーダー系統の評価がどのようなかについて評価していく場があります。その場では運行事業者である知多バスさんをはじめ、色んな市町さんに出させていただきます。様々な方の取り組みについて、情報共有していただくことが重要ですので、今後ともよろしく願います。

(名古屋大学環境学研究科教授)

常滑線の収支率は全体でどの程度ですか。

(知多乗合株式会社取締役バス営業本部長)

様々な補助をいただきながら運行しており、また10月から見直しということで、収支的にずいぶん改善されております。しかしまだ赤字路線であり、私どもの持ち出しがありますが、10月の再編で改善され、もっと皆さんに乗っていただきたいと考えております。

	<p>(名古屋大学環境学研究科教授)</p> <p>この資料での全体で 80%程度ですから、今回運賃が半田市内において下がったことによって、より増やさなくてはいけないです。対象経費については補助金が出ておりますが、対象外の部分は知多バスさんが持ち出しているということになるわけですので、あまりお世話にならないように頑張ることが必要かと思えます。</p>
<p>4. 協議事項 (1) 地域公共交通 確保維持改善 事業・事業評 価(計画推進 に係る事業) (案)について</p>	<p>(事務局)</p> <p>説明</p> <p>(会長)</p> <p>説明のありました資料は、これから中部運輸局へ提出していくものになりますので、ご意見がありましたらお願いします。</p> <p>(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>国の予算を使用して事業を進めていただくので、それなりの評価をしてくださいということで、この資料を作成させていただいているということです。半田市ではマップの作成や一日乗車券の作成について国の予算を活用しています。</p> <p>その中で、非常に多くの地域での懇談会などを行ったうえでの網形成計画や再編ということですので、そこをしっかりと示すといいかと思えます。代表としては半田商業高校さんとの共同事業であるツアーマップがありまして、これでどんなものを作ったのかなど、箇条書きで結構ですので、利用促進に努めているところを記載していただければと思います。様式2の10ページにも同じことが言えます。</p>

	<p>バス会社さんとも一緒になって行われたということで、作っただけではなく、守って育てていくといいかと思えます。</p> <p>(会長)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>他にご意見がないようでしたら、今頂いた点を事務局の方で修正することを前提として、この事業評価表を提出するというので、ご承認いただきたいと思えます。</p> <p>ご承認いただけるようでしたら拍手をお願いいたします。</p> <p>>一同 拍手</p> <p>はい、ありがとうございます。</p>
<p>5. その他 (1) 地区路線B導入ガイドラインについて</p>	<p>(事務局)</p> <p>説明</p> <p>(一同)</p> <p>意見、質問なし。</p>
<p>(2) 半田市地域公共交通網形成計画に基づく事業スケジュールについて</p>	<p>(事務局)</p> <p>説明</p> <p>(特定非営利活動法人半田市観光協会事務局長)</p> <p>一部の施設からバスと連携した事業の話が上がってきているので、きちんと実施できる状態を作りたいと思えます。</p> <p>また、3の④にある案内表示についても、特に知多半田駅で少しサインが不足している場所がありますので、今後整理</p>

を進めていただけるといいと思います。

(愛知県タクシー協会知多支部長)

網形成計画にもタクシーの目標があり、5年後でも策定時の乗車人員を確保したいとしています。しかし、現状では極めて厳しいという事実の報告となります。

そこで、網形成計画にもありますように、新たなタクシーサービスの提供ということで、半田市への着地型観光に対応したタクシーの利用方法をご提案しております。また、常滑市・半田市・碧南市・西尾市をタツノオトシゴに見立てた「竜の子街道」という、昇龍道の派生プランもあります。こちらはラッピングタクシーもあり、インターネットにアップしていただいている例もあります。

このような取り組みではありますが、実数をキープするというので、引き続き努力していきたいと思っております。

(安全タクシー株式会社代表取締役)

当社としては武豊町のゆめころんの乗合をやらせていただいております、乗務員不足が厳しい中ではありますが、月間で100名程度の利用があることをご報告します。

(会長)

ありがとうございます。

委員の皆さままでご意見ありましたらお願いします。

(愛知県振興部交通対策課主幹)

愛知県では交流の促進を図るため、主にバスを利用した周遊プランを作っております。半田市さんや知多乗合さんも参

	<p>加していただいております。最終的にはパンフレットにして、半田市・常滑市・武豊町・美浜町・南知多町の2市3町と協力しながら作成しております。また、ご協力をお願いします。</p> <p>(会長)</p> <p>他にご意見がないようでしたら、時間が迫っておりますので、6の情報交換については次回に回させていただくこととして、会議を終了したいと思います。</p> <p>委員の皆さま、長い時間、ありがとうございました。これをもちまして、半田市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>6. 情報交換 ・近隣市町の 状況について</p>	<p>(事務局)</p> <p style="text-align: right;">終了</p>